

ジビエ利用モデル地区「熊本県」の取組概要①

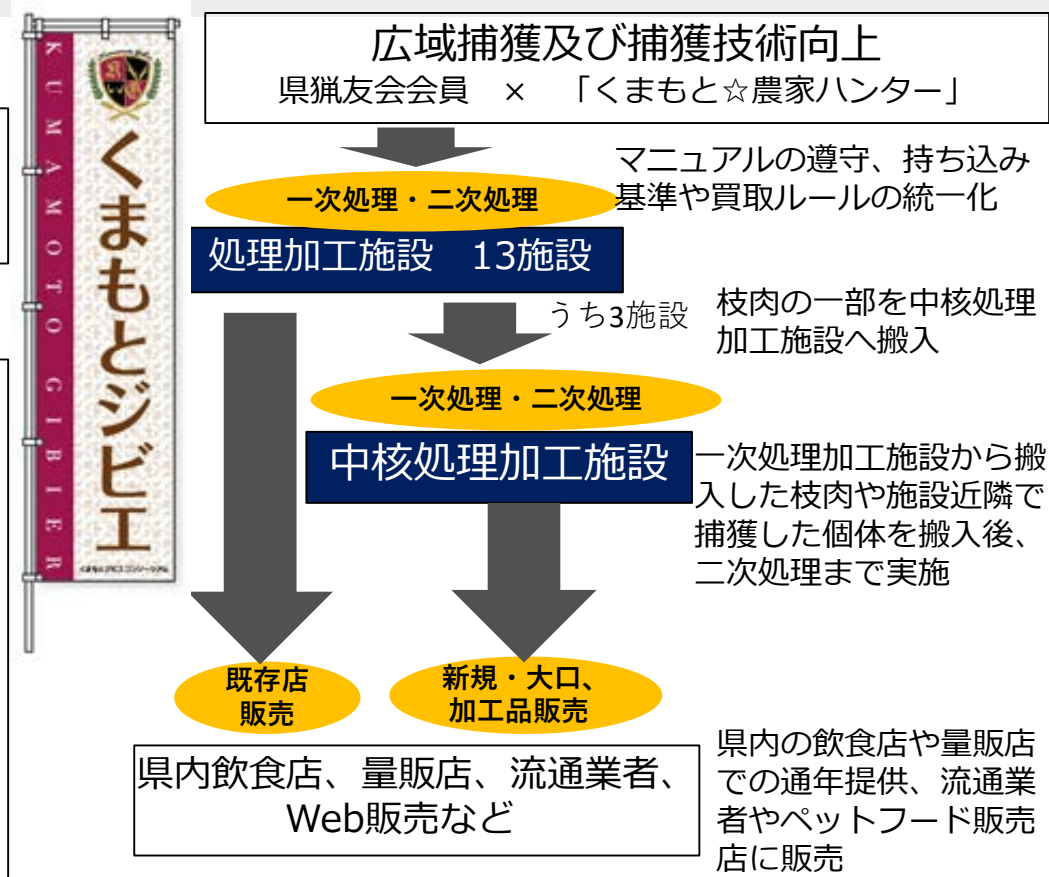
モデル地区の構想

- 県猟友会会員と「くまもと☆農家ハンター」が連携し広域的な捕獲体制の強化とジビエ利用向けの捕獲技術向上を進め、周辺処理加工施設から中核処理加工施設へ枝肉を搬入し加工処理することで、物流の集約化と需給調整を図り、「くまもとジビエ」を安定供給。

特徴的な取組

- ジビエ利用を前提とした捕獲技術の習得に向けた研修会を開催するとともに、県猟友会会員及び農作物被害から地域を守る「くまもと☆農家ハンター」による捕獲体制の強化。
- 処理加工施設に対し、熊本県イノシシ肉・シカ肉衛生管理ガイドラインを周知するとともに、個体持込基準や買取りルール等の標準化、冷凍車の活用等により安定的な集荷体制を構築。
- 処理加工施設の受入拡大のため、保冷施設を整備するとともに、各施設の枝肉（又は部分肉）の一部を二次処理（精肉・加工品）する「マルコーフーズ」を中核処理加工施設に位置づけ、物流の集約化を図り、需給調整をしながら処理加工体制を整備。
- この結果本モデル地区における令和元年度の処理実績は3,327頭と平成28年度と比較して約2.5倍に増加。

モデル地区の各体制



捕獲

搬送・集荷

処理加工

販売

体制

- ジビエ利用を前提とした捕獲技術の習得に向けた研修会開催、捕獲マニュアル提供などを通じ関係捕獲者拡大を目指す。
- 県猟友会及びくまもと☆農家ハンターによる広域連携体制を整備し、捕獲体制を強化。

- 処理加工施設に対し、熊本県イノシシ肉・シカ肉衛生管理ガイドラインの作成・周知を図るとともに、個体持込基準や買取りルール等の統一化を推進。
- 冷凍車を活用した広域集荷体制を確立。

- 一次処理加工施設3施設が中核処理加工施設へ枝肉（又は部分肉）を搬入。
- 処理加工施設の受入数拡大のため、必要に応じて保冷库等を整備。
- 中核施設でも一次処理を実施。

- くまもとジビエフェアを通じ、県内飲食店等での通年販売推進。
- 大手量販店での通年販売や料理教室を通じ、消費者へ認知向上。
- 中核処理加工施設を中心に需給調整機能の集約化や効率的な処理加工体制を実現。

メリット

- ジビエ利用を前提とした捕獲技術を持つ捕獲者が増えたことで、ジビエ利用に適した高品質な個体を多く確保することが可能。
- 捕獲について猟師と農家の広域連携体制を整備することで、安定的な搬入が可能。

- ガイドラインの周知、個体持込基準や買取りルール等の統一化により、施設への搬入がスムーズになるほか、品質が安定した個体搬入が可能。
- 冷凍車の活用により良質な個体の広域集荷が可能。

- 各施設では処理の分担化により、作業の効率化が図られ、受入頭数が増加。
- 中核処理加工施設で一括した需給調整、製品製造が可能となり、大口需給に対応が可能。

- 県内飲食店や量販店での通年販売による安定的な需要の確保。
- 県外流通業者との取引やWeb販売、ペットフード販売など多方面への販路の開拓が可能。

プレイヤー

- 熊本県猟友会
- くまもと☆農家ハンター
- ICT業者

- 熊本県猟友会
- くまもと☆農家ハンター
- 一次処理加工施設（13施設）

- 一次処理加工施設（13施設）
- 中核処理加工施設（1施設）

- 県内飲食店、量販店
- 流通業者
- 道の駅
- ペットフード販売店
- 中核処理加工施設（1施設）

ジビエ利用モデル地区「熊本県」の取組概要②

コンソーシアム名

くまもとジビエコンソーシアム

コンソーシアム構成員

- 熊本県
- 宇城市、山都町など9市町村
- JA熊本中央会・連合会
- 県猟友会、くまもと☆農家ハンター
- 富士通（株）、NECソリューションイノベータ（株）など5企業
- 処理加工施設（13施設）
 - 猪鹿工房東陽、
 - ジビエフード・イズミ
 - マルコーフーズ
 - 五木村鹿肉処理施設
 - 球磨村特産処理加工施設
 - 五和町イノシシ解体所
 - 倉岳イノシシ解体処理施設
 - 山幸館
 - 坂本地区・鹿解体処理施設
 - 水上村ジビエ処理加工施設
 - ジビエ工房やまと
 - コスモファーム
 - 株式会社イノP
- マックスバリュ九州（流通・小売）
- 全日本司厨士協会熊本県本部
- くまもとジビエ研究会

ジビエ倍増モデル整備事業取組内容

整備事業

| 取組内容 |
|--|
| コールドチェーンによる集荷及び搬送体制の確立 (冷凍庫・保冷車の導入) |
| 既存処理施設の衛生管理・処理能力等向上 (金属探知機・スライサー等の導入) |
| 処理加工施設の新設 |
| |

推進事業

| 取組内容 |
|-----------------------|
| 捕獲技術の向上 |
| 衛生管理技術の向上 |
| くまもとジビエフェア開催、商談会参加等 |
| ICTを活用した流通情報管理システムの導入 |
| その他(コンソーシアム運営) |
| |